

平成 24 年度の決算について

1. はじめに

平成 24 年度は、第三病院医局棟建築工事、看護学科増築工事、柏病院救命救急対応工事、並びに本院外来棟建築の為の内部蓄積実施を目指して運営されましたが、各機関の経営効率化努力と診療報酬プラス改定の双方の効果により、帰属収支差額（収益）は予算を大幅に上回る結果となりました。

2. 資金収支計算書

施設・設備関係支出は 48 億円。主な内容は医療器械 12 億円、ソフトウェア 5 億円、看護学科校舎増築 5 億円、第三病院新 1 号館新築工事 3 億円でした。前年度繰越金は 428 億円でしたが次年度繰越金は 465 億円となり、繰越金は 36 億円増加しました。

3. 消費収支計算書

収入の部は、前年度比で医療収入が手術件数の増加等の要因により 38 億円増加、また補助金・寄付金が 3 億円増加し、帰属収入は前年度比 42 億円増加の合計 971 億円となりました。

支出の部は、前年度比で医療経費が 8 億円増加、人件費が退職給与引当金の増加に伴い 20 億円増加、更に旧青戸病院と第三病院青樹寮の取壊しに伴う除却損 26 億円により、消費支出は前年度比 56 億円増加の合計 929 億円となりました。

この結果、帰属収支差額（収益）は 42 億円となり前年度比では 14 億円の減少となりましたが、除却損を除く実質的な帰属収支差額は 68 億円と良好でした。

4. 貸借対照表

資産の部では建物並びに建設仮勘定が、除却損と減価償却で 34 億円減少しましたが、これが現預金の増加 36 億円として存置されています。また、自己資金の部の増加 42 億円と退職給与引当金の増加 8 億円が、借入金の返済 15 億円と有価証券の増加 35 億円に充当されています。

自己資金は合計が 1,205 億円で、自己資金比率は 70%となりました。

5. 決算開示方法について

(1) 平成 16 年度の私立学校法の改正に伴い、本学の事業報告書、法人誌「The JIKEI」、インターネットのホームページでの決算報告は、文部科学省への届出フォームで開示しております。

また、計算書及び事業報告書は大学図書館ならびに各附属病院に備え付けております。

(2) 貸借対照表における未収入金は、徴収不能引当金 164,480,650 円を控除して表記しております。

以上